

盛岡市水道工事 標準仕様書

令和8年104月1日以降適用

盛岡市上下水道局

1 - 27 保険の付保及び事故の補償

1. 受注者は、雇用保険法、労働者災害補償保険法、健康保険法及び中小企業退職金共済法の規定により、雇用者等の雇用形態に応じ、雇用者等を被保険者とするこれらの保険に加入しなければならない。
2. 受注者は、法定外の労災保険に付さなければならない。
3. 受注者は、雇用者等の業務に関して生じた負傷、疾病、死亡及びその他の事故に対して責任をもって適正な補償をしなければならない。
4. 受注者は、建設業退職金共済制度に加入し、「建設業退職金共済証紙購入状況報告書」（様式第30号）を工事請負契約締結後1カ月以内に、監督職員を通じて発注者に提出しなければならない。

1 - 28 臨機の措置

受注者は、災害防止等のため必要があると認められるときは、臨機の措置をとらなければならない。また、受注者は、措置をとった場合には、その内容を速やかに監督職員に報告しなければならない。

1 - 29 準拠する仕様書等

この標準仕様書によるほか、次の仕様書等に準拠するものとする。

- (1) 共通仕様書（岩手県県土整備部）
- (2) 水道工事標準仕様書（日本水道協会）
- (3) 道路維持修繕要綱（日本道路協会）
- (4) 盛岡市給水装置工事施行要領（盛岡市上下水道局）

工事完成時				
工事完成届	工事完成時	様式第15号	工事が完成した際	
工事完成図面			工事完成図面作成要領による	
工事写真			工事写真撮影要領による	
出来形管理図及び管理表			出来形管理基準に基づく管理図等	
品質管理図及び管理表			品質管理基準に基づく品質管理資料等	
工事記録			工事打合簿等	
建設廃棄物処理結果報告書		様式第22号	建設廃棄物がある場合	
消火栓台帳		様式第24号	消火栓を設置した場合	
空気弁台帳		様式第27号	空気弁を設置した場合	
水管橋台帳		様式第33号	水管橋を設置した場合	
配水幹線維持管理台帳		様式第34号	配水本管（φ300mm以上）を設置した場合	
給水切替及び切離報告書		様式第28号	給水管の切替を行った場合	
継手チェックシート		様式第29号	対照用図面を添付	
個人情報の取り扱いに関する安全管理措置報告書（完成時）			個人情報取扱事務に係る特記仕様書による 発注者は調査票を用いてヒアリングを実施	
工事完成引渡書	完成検査に合格 後速やかに	様式第16号		
監督職員が作成する書類				
工事用水量等及び断水作業報告書	洗管等作業後	様式第23号	施工の際、水道を使用した場合	
その他（参考）				
中間前金払に係る認定請求書		中間前金払認定請求書	「盛岡市営建設工事の中間前金払に係る認定請求書」による 様式：盛岡市公式ホームページ 盛岡市市営建設工事請負契約書 に基づく各種提出書類の様式について	
請求書（前払、中間前払）			任意様式により提出すること	
請求書（完成払）			任意様式により提出すること 参考：盛岡市上下水道局公式ホームページ 盛岡市水道工事標準仕様書 様式集－「【記載例】請求書（完成払）」 債務負担行為工事の場合は別途監督職員へ必要事項を確認すること	

別表 4-1-(2)

【水道工事承認材料一覧表(2)】

製 品 名		規 格 等	
押輪・特殊押輪類			
押輪（FCD 製）	同軸押輪	川崎機工(株)	KCA 形
特殊押輪(K 形)		川崎機工(株)	KTA 形
		(株)コダイト工業	MR31
		コスモ工機(株)	CMB
		(株)水研	SW-S (A)
		大成機工(株)	TN-30 (W)
	高圧タイプ	コスモ工機(株)	CMA
		(株)水研	SW-H (A)
		大成機工(株)	TN-30 (R)
離脱防止型特殊押輪(K 形)	3 DkN 以上	コスモ工機(株)	CMH
		大成機工(株)	TN-30Z
特殊割押輪(SⅡ形)		大成機工(株)	TN-35SW
特殊割押輪(NS・SⅡ形)	継輪用	大成機工(株)	TK-99
		コスモ工機(株)	CMNS-2
メカニカル形帽	K 形	大成機工(株)	TN-30C
		コスモ工機(株)	MCK-KG
	NS・SⅡ形	大成機工(株)	TN-30C
	SⅡ形	コスモ工機(株)	MCKP-S2
	NS 形	コスモ工機(株)	MCKP-NS
既設管継手部耐震補強金具(A・K 形)	3DkN(φ 75～600)	大成機工(株)	TO-13H
	3DkN(φ 75～250)	コスモ工機(株)	CHK
	3DkN(φ 300～600)	コスモ工機(株)	CMWD
既設管継手部補強金具(A・K 形)	1. 5DkN 以上（φ 75～300）	大成機工(株)	TO-99
既設管継手部補強金具(T 形)	1. 5DkN 以上（φ 75～250）	大成機工(株)	TO-99
フランジ部耐震補強金具	3DkN 以上	大成機工(株)	TK-14FS
		コスモ工機(株)	KTF5
フランジ部耐震補強金具補修弁用	3DkN 以上	大成機工(株)	TK-15FS
		コスモ工機(株)	FHR、 FHR/10
NS 形用管栓		コスモ工機(株)	MCSP-NS
		大成機工(株)	TN-06SN
GX 形用管栓		コスモ工機(株)	MCSP-GX MCSP-GXI
		大成機工(株)	GX-11SN
移動用防止金具(NS 形)		コスモ工機(株)	LKH
		大成機工(株)	NS-07G
ポリエチレン管			
ポリエチレン管	1 種(軟質管)2 層管	JIS K 6762	

別表 4-1-(5)

【水道工事承認材料一覧表(5)】

製 品 名		規 格 等
仕切弁管		
仕切弁管	A1L (従来埋設 $\phi 50 \sim \phi 100$)	仕様書⑤ JWWA B 110 川彦(株)
	A1 (従来埋設 $\phi 150 \sim \phi 300$)	日之出水道機器(株) (株)トミス
	A1S (浅層埋設 $\phi 50 \sim \phi 200$)	長島鋳物(株) 平野鋳工(株) 北勢工業(株)
	A2 (従来埋設 $\phi 400$) (浅層埋設 $\phi 250 \sim \phi 300$)	仕様書⑤ JWWA B 110 川彦(株) 日之出水道機器(株) (株)トミス 長島鋳物(株) 平野鋳工(株)
仕切弁管台	コンクリート製 (A1、A1L、A1S 号)	岩手大丸コンクリート(株) 矢巾ケーハン(株) 日之出水道機器 (株)
	コンクリート製 (A2 号)	岩手大丸コンクリート(株) 矢巾ケーハン(株)
	再生プラスチック製 (A1、A1L、A1S 号)	川彦(株) (株)トミス 日之出水道機器 (株)
	再生プラスチック製 (A2 号)	(株)トミス
	レジンコンクリート製 (A2 号)	日之出水道機器 (株)
仕切弁台	コンクリート製	岩手大丸コンクリート(株) 矢巾ケーハン(株)
	再生プラスチック製	日之出水道機器 (株) (株)トミス
その他		
埋設標識シート (標識部はリサイクル製 品) 幅 150mm	浅埋用 (標識部W折込、保護部シングル)	(株)アクロス サンエス護謨(株)
	従来用 (標識部W折込)	(株)モリヤ ヨツギ(株)
管明示テープ	【形状寸法】 幅 50 mm×厚さ 0.2 mm×長さ 20m(巻) 【印刷文字】 「盛岡市上水道 内面エポキシ樹脂粉体 塗装(西暦2年単位 例:2019～2020)」	(株)アクロス サンエス護謨(株) ヨツギ(株)
ポリエチレンスリーブ類		JWWA K 158
管探知ワイヤー	ロケーティングワイヤー	フジテコム(株)FRT-174W (株)アクロス PC706 サンエス護謨(株) ヨツギ(株) YS671 河陽電線(株)

第5章 土 工

5－1 適用

本章は、管路工事の土工その他これに類する事項について適用するものとし、一般的技術内容については、「土木工事安全施工技術指針」（国土交通省大臣官房技術審議官通達、令和4年2月）及び「建設工事公衆災害防止対策要綱」（国土交通省告示第496号、令和元年9月2日）によるものとする。

5－2 布設位置の選定

1. 管布設の平面位置及び埋設深さ（土被り）は、設計図書、現地調査並びに必要な応じた試験掘により状況把握のうえ選定するものとする。
2. 埋設深さ（土被り）は、下層路盤の下面から30cm下がりをもととするが、管の口径が300mm以下の場合、最小埋設深さは90cmとする。また、管の口径350mm以上となる場合、最小埋設深さは120cmとする。ただしマウントアップの歩道に管を埋設する場合、将来の歩道切り下げ等を考慮し、マウントアップの高さ分（埋設深さ（土被り）＝最小埋設深さ＋マウントアップ高さ）を加えるものとする。

5－3 埋設物等調査

工事区域内にある埋設物等について、形状寸法、管種、管径、土被り、埋設年、圧力等の状況などを管理者の図面と照合しながら平面位置及び深さ等を確認する。

ガス管、ケーブル等破損することにより住民生活に大きな影響を与える施設、または、重大事故につながる恐れがある施設が埋設されているときは必要に応じ、各管理者の立会いのもとで試験掘を行うものとする。これらにより確認された事項については、文書及び図面等に残しておくこと。

主な埋設物は次のとおりである。

（1） 地上物件

電柱、空中線、街路樹、公衆電話等

（2） 地下物件

上下水道管、ガス管、ケーブル（電気、電話、高速通信）、有線テレビ等

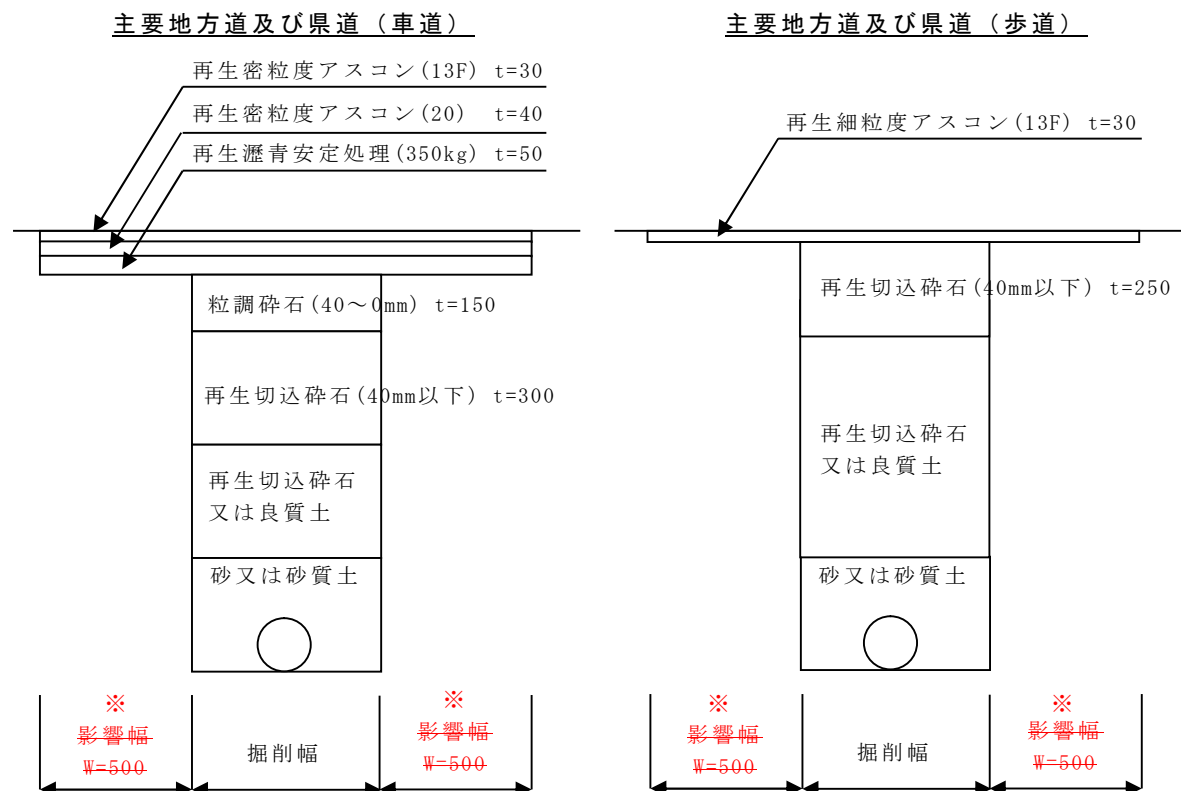
5－4 床掘工

1. 床掘は、あらかじめ標示施設、保安施設、土留、排水、覆工、残土処理方法、埋戻材料、その他必要な諸般の準備を整えたうえ着手しなければならない。
2. 舗装切断時に現場内で発生する排水（汚泥）は、放流することなく、産業廃棄物処理法に基づき、回収・運搬・処理しなければならない。

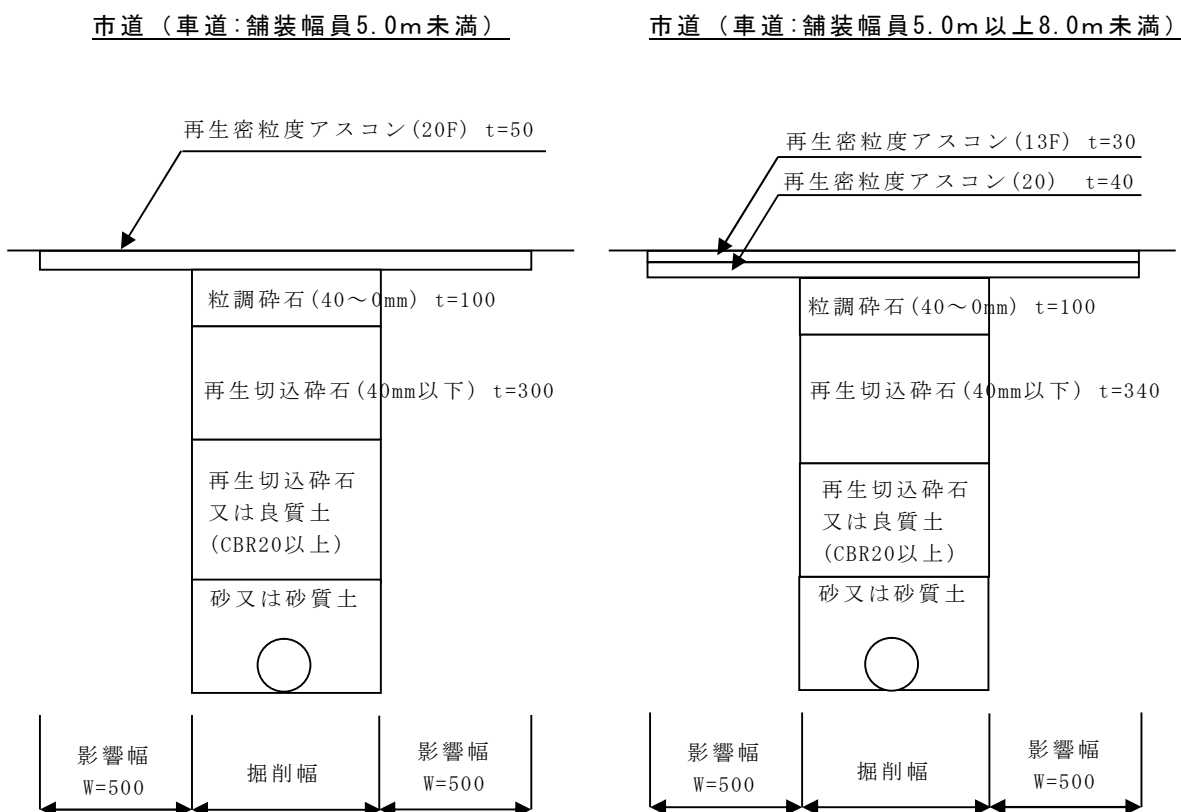
なお、排水が伴わない工法を採用する場合は監督職員と別途協議し、発生する粉塵等については適正に処理しなければならない。

別図 6 - 1

【復旧標準断面図】



※道路管理者との協議により設計図書に示す範囲。



7-17 充填工

1. 充填工を実施する際は、工事に先立ち、充填箇所及びプラントの位置を正確に定めるとともに、工事の実施時期について、監督職員と十分な打ち合わせを行い、工事に支障のないように留意すること。
2. 充填材は、流動化充填材を基本とし、仕様は以下のとおりとするが、これによらない場合は監督職員と協議し、決定すること。

充填材仕様

流動化材	水	圧縮強度
セメントベントナイト系	混練水	1N/mm ² 以上

3. 使用する充填材の基本配合、配合順序等を遵守すること。
4. 充填する際は、空隙が生じない様、留意すること。
5. 作業時は、充填量（注入量）の管理を行い、注入圧、周辺状況を確認すること。

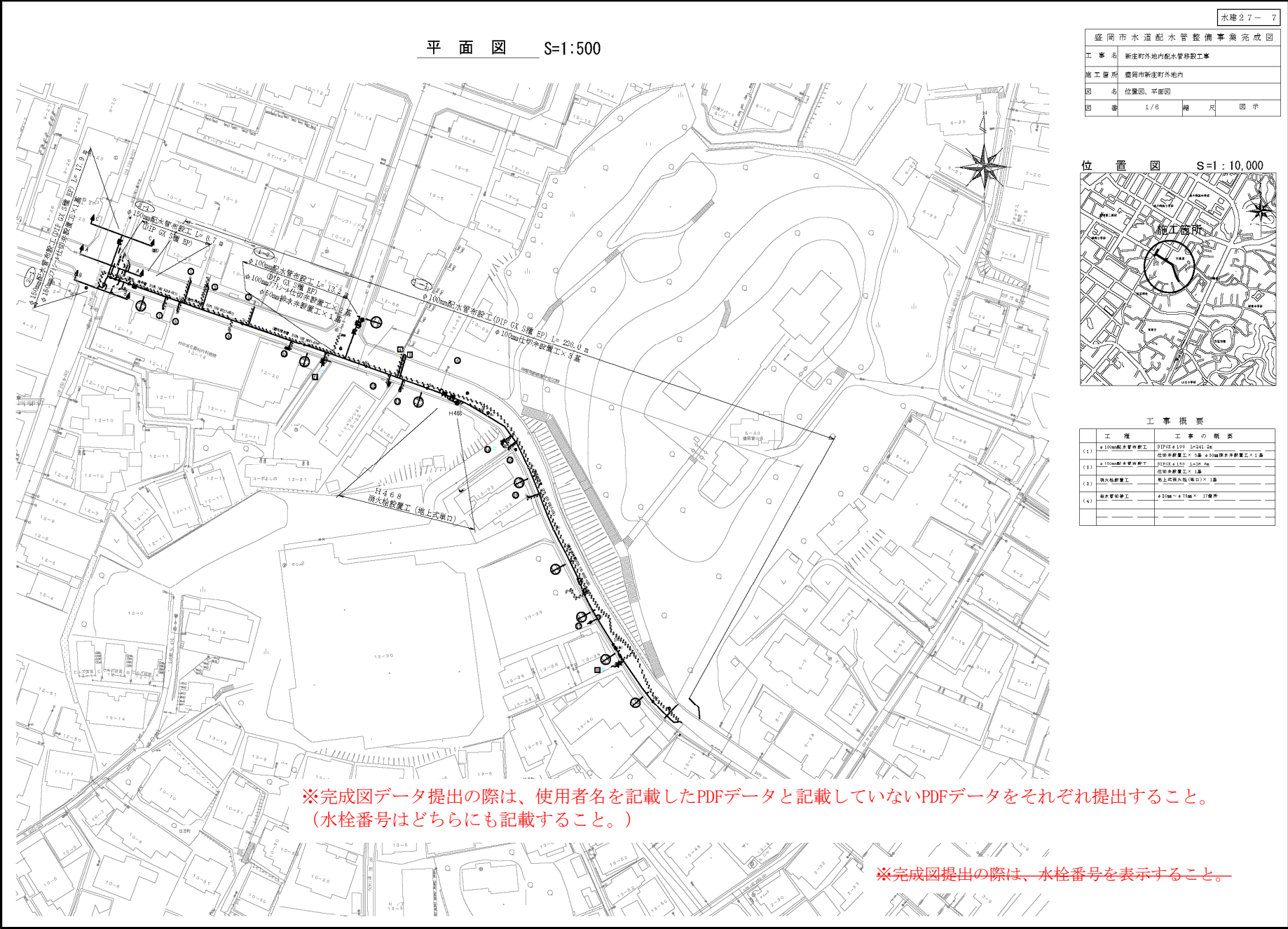
別表 3-1-(1)

【撮影箇所一覧表(1)】

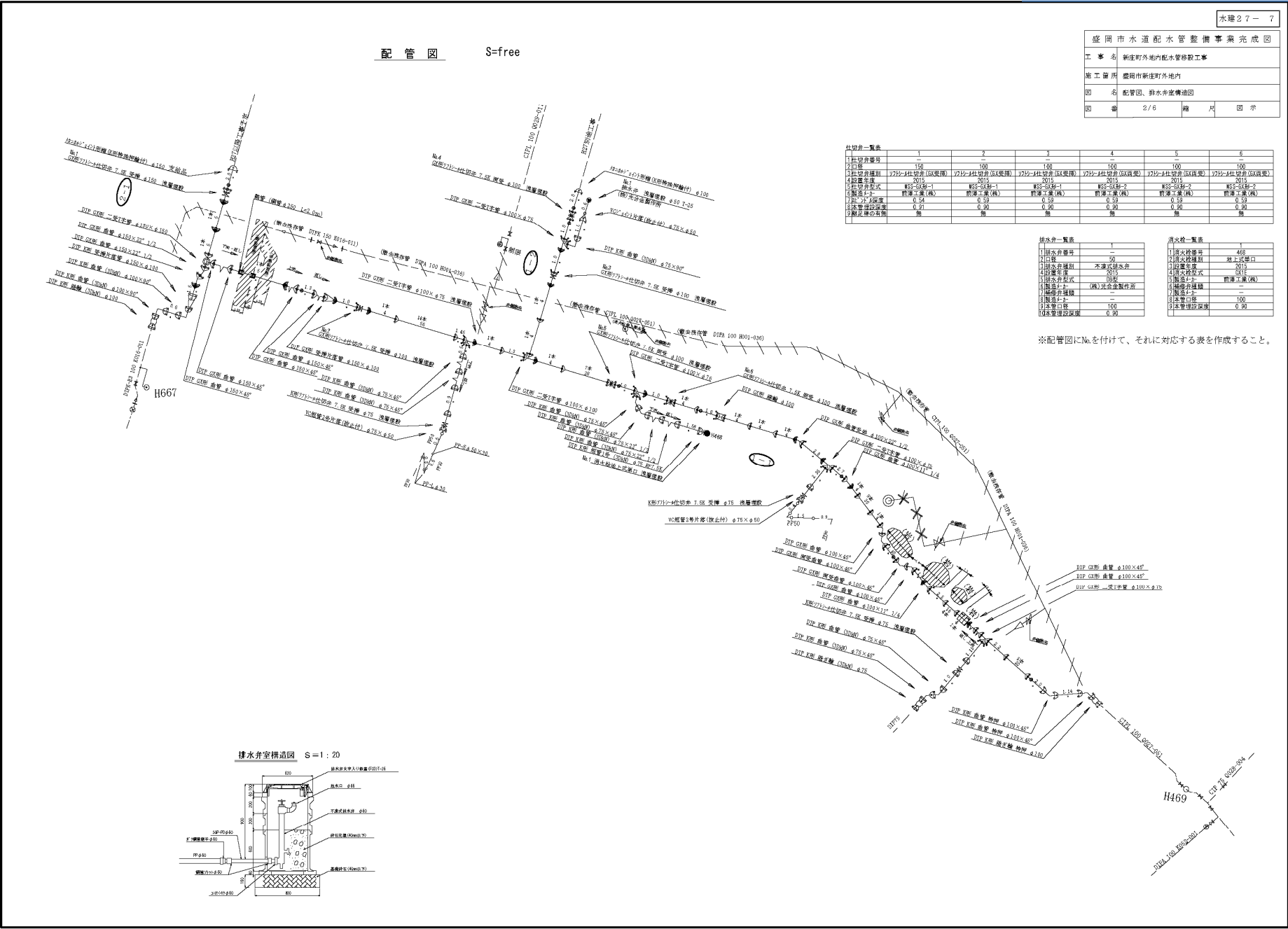
	撮 影 種 目	撮 影 要 領	撮影箇所 整理枚数
(1)	工事着工前 完成	工事標識を入れた全景写真 施工前と完成後の状況を同一箇所から同一方向から撮影する	測点毎
(2)	試験堀	掘削した箇所について、その施設物の形状寸法及び深度等、黒板に記入して撮影する	各箇所
(3)	仮設設備 及び資材管理	材料置場、材料検査、保管、工事用機械器具等の管理 状況などを撮影する	4枚程度／ 全体
(4)	保安施設	保安施設の設置状況が確認できるもの	主要箇所
(5)	土留工	矢板工の設置状況が確認できるもの	測点40m 毎
(6)	水替工	使用ポンプ、排水状況が確認できるもの	測点40m 毎
(7)	覆工	覆工板の設置状況が確認できるもの	各箇所
(8)	舗装版切断工	①コンクリート、アスファルト舗装のカッター作業状況（スタッフ等により切断幅が確認できるもの） ②舗装切断時に発生する汚泥の回収・処理状況	測点40m 毎
(9)	床掘工	①機械床掘の状況 ②基面整正状況 ③スタッフ等により、幅、深さ等の出来形寸法が確認できるもの	測点40m 毎
(10)	残土処理工	①運搬積み込み（機械又は人力積み込み）の状況	測点40m 毎
		②残土捨場の状況	5枚程度／ 全体
		③産廃処理場の処分状況	
(11)	管防護砂埋戻工	スタッフ等により一層厚さ毎の出来形寸法が確認できるもの	測点40m 毎
(12)	埋戻工	①スタッフ等により埋戻材一層厚さ毎の出来形寸法が確認できるもの ②埋設標識シート設置状況	測点40m 毎
(13)	管布設工	①管の吊り込み状況 ②管内部清掃状況 ③管明示テープ貼付状況 ④トルクレンチの締付け状況 ⑤配管時状況（スタッフにより土被りの確認できるもの） ⑥ポリエチレンスリーブ（テープ、ゴムバンド含む）設置状況 ⑦管探知ワイヤ設置状況	測点40m 毎
		⑧管切断（溝切り）状況 ⑨溝ゲージ計測状況 ⑩切断面の塗料塗布状況 ⑪挿しロリング設置状況	切断箇所
		⑫異形管布設状況（全景） ⑬ライナ設置状況 ⑭既設管との連絡状況（全景） ⑮ガス管、N T T ケーブルなどとの交差、近接状況及び寸法が確認できるもの ⑯仕切弁、仕切弁台、空気弁、排水弁の設置状況（作業時及び完了時）	各箇所

別表4－2 電子記憶媒体作成仕様

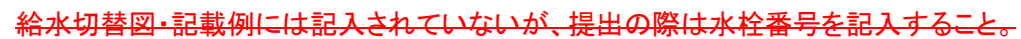
内 容		詳 細
使用媒体に関する事	使用する媒体	・書き換え可能なCD－RW1枚に格納すること。なお、格納することが不可能な場合は、別途協議すること。
	CD-RWに明記する情報 (記入例参照)	・工事番号 ・工事の名称または、業務の名称 ・工事完成または、業務完了年月日 ・発注者名 ・受注者名 ・正、副の区別
	CD-RWに明記する方法	・プリンタブル仕様のものを使用し、直接印字するか、専用ラベルを専用の貼り付け用器具で確実に貼り付けること。
	電子記憶媒体を保管するプラスチックケースに明記する情報	・工事番号 ・工事の名称または、業務の名称 ・工事完成または、業務完了年月日 ・受注者名 ・正、副の区別
電子記録媒体に保存する内容	保存するもの	・完成図PDF(個人情報表示版及び個人情報非表示版) ・完成図CAD(SXF形式を標準とする。ただし、可能な場合はDWG形式もあわせて提出するものとする。) ・給水切替及び切離報告書 Excel形式 ・弁栓類台帳 Excel形式 ・完成図面情報入力票 Excel形式
	工事完成図の保存方法について	・PDFデータ及びCADデータを保存すること。 ・PDFデータはベクタ形式で作成すること。 ・PDFデータは、個人情報(水栓番号と使用者名)を表示したものと非表示にしたものをそれぞれ作成し、保存すること。 ・ファイル名称は次の例により附すること。 【例】工事番号“水建08-001”の場合 PDF:SK08-001(個人情報表示).pdf SK08-001(個人情報非表示).pdf CAD:SK08-001.sxf(SK08-001.dwg) ※CADデータが複数ある場合は「SK08-001(平面図・配管図).sxf」「SK08-001(給水切替図).sxf」など、含まれる図名をファイル名称に記載すること。
	給水切替及び切離報告書について	・様式に従ってエクセル形式で作成したものを保存すること。 ・編集可能なファイルを保存すること。 ・ファイル名称は次の例により附すること。 【例】工事番号“水建08-001”の場合 SK08-001(給水切替及び切離報告書).xlsx



平面図・記載例には記入されていないが、提出の際は水栓番号を記入すること。



配管図・工事で設置した仕切弁、排水弁、消火栓は配管図内にNoを記入し、そのNoに対応した一覧表を作成し図面に記入すること。



工事施工連絡票				
令和 年 月 日				
工事の名称				
施 工	日時	月	日	時から
		月	日	時まで
		断水時間 時 ～ 時まで		
	場所	(図面は別紙掲載)		
受 注 者		TEL		
		現場代理人 TEL		
担当課・係			監督員 (担当者)	
工事内容		☐ 断水工事 ☐ 不断水工事 ☐ 凍結工事 ☐ 切り廻し ☐ 洗管作業		
		☐ バルブ操作 ☐ その他 ()		
		☐ 制限バルブの操作等 (☐ 操作 ☐ 新設 ☐ 撤去) (〇〇浄水場系〇〇ブロック と 〇〇浄水場系配水幹線 の制限バルブ)		
影 響		☐ 断水 ☐ 濁り ☐ 減圧 ☐ 減水 () 約 世帯		
広 報		☐ チラシ ☐ 口頭 ☐ 広報車 ☐ その他 ()		
注意事項				

(注意事項)

位置図、配管図等（個人情報（氏名）は記載しないこと）を添付し工事の内容を分かりやすく作成すること。図面は、施工箇所[桃]、断水世帯[黄]、操作仕切弁[緑]（開閉状況を記入）、排水箇所[青]で着色することを原則とする。また、制限バルブの操作等がある場合は、対象となる水系とブロック名を図面に記載すること。